

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔土産〕 （経営者）	・来客数、客単価ともに、改善の動きが1年以上も続いている。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・省エネ、高機能の高額商品が売れるようになってきており、今後やや良くなる。
		百貨店（売場主任）	・来月から改装が始まり、新しいブランドも増えるため、来客数が増えて売上も伸びる。
		百貨店（企画担当）	・婦人服を中心に初秋物の販売がスタートしているが、出足は好調であり、今後に向けての手ごたえがある。
		スーパー（経営者）	・客単価が上昇傾向にあり、今後やや良くなる。
		スーパー（店長）	・食料品以外や一部高額商品等も売れ始めており、今後少しずつ上向く。
		スーパー（営業担当）	・来客数、販売点数、買上点数の伸長が著しく、今後も回復基調で推移する。
		コンビニ（商品開発担当）	・天候条件にもよるが、名古屋駅周辺の活性化等に伴い景気は改善する。
		住関連専門店（営業担当）	・公共事業関係は低迷するが、賃貸マンションや工場、オフィスなど民間企業の設備投資は今後もおう盛である。
	その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・問い合わせの状況から、入校者数は増加する。	
	変わらない	商店街（代表者）	・客の財布のひもは相変わらず固く、来客数の伸びも若干落ちているため、今後良くなる材料はない。小売業者は今後も厳しい状態が続く。
		一般小売店〔贈答品〕 （経営者）	・昨年末から6月ごろまでは伸びていたが、7月は伸び悩んでいる。今後は横ばいとなる。
		百貨店（企画担当）	・婦人服や紳士服など輸入ブランドを中心に、売上は比較的好調に推移している。その一方で、食品の売上は減少傾向にあるため、全般的には横ばいが続く。
		百貨店（外商担当）	・個人経営者等の中心客層では、原油価格の高騰に伴うコスト増により利益幅が減るため、今後買い控えが出てくる。
		スーパー（経営者）	・原材料の高騰に伴い商品は値上がりしているが、客は値上がりした商品は買わないため、売上が伸びるといったことはない。
		スーパー（店長）	・高額、上質品の売上も伸びているが、全体としては低単価傾向である。原油価格の高騰に伴う水産物等の値上がり、長雨による野菜相場高もあり、今後も単価が上昇するというよりは、売上が減少する心配が大きい。
		スーパー（店員）	・ここ3か月間の売上は前年比数%増で推移しており、昨年と比べれば多少良くなっている。ただし、今後良くなる材料は少ない。
		コンビニ（エリア担当）	・売上、来客数とも比較的安定しており、やや良くなる感もあるが、上期末には競合店の出店が予定されており、今後はその影響も出てくる。
		コンビニ（エリア担当）	・消費者の間では無駄使いできないという雰囲気は今後更に強まり、売上の増加は難しい状況が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・同業他社、異業種との競争は厳しくなる一方であるため、現状維持が精一杯である。
コンビニ（エリア担当）		・今月はたばこの値上げの反動や悪天候等により厳しい状況であるが、来月以降も悪いまま推移する。ガソリン価格高騰の影響に加えて、コンビニにとって稼ぎ時である暑い夏の期間が短く、厳しい状況が続く。	
衣料品専門店（企画担当）		・売れる製品、売れない製品が混在しており、全体的に伸びるといったことは今後もない。	
衣料品専門店（売場担当）	・客の購買意欲は向上しておらず、今後も横ばいが続く。		
家電量販店（店員）	・今後はイベントもなく、しばらく変化はない。		
家電量販店（店員）	・新OSを搭載したパソコンの発売は年内はなさそうであり、薄型テレビもこのところ軟調のため、今後はエアコンの売上増でカバーできるかどうかといった状況である。		
乗用車販売店（従業員）	・富裕層でも買い控える人が増えており、今後もやや悪い状態が続く。		
乗用車販売店（従業員）	・しばらく新車投入がなく、新車販売は今後も苦戦が続く。ただし、サービス工場への入庫は増加傾向にあるため、何とか収益を確保できる。		

	乗用車販売店（総務担当）	・今後も引き続き、金利上昇、ガソリン価格の高騰等の不安材料がある。
	自動車備品販売店（経営者）	・消費者のニーズは多様化しており、カー用品への需要は減少傾向にある。
	住関連専門店（店員）	・現状は少し良いが、昨年愛知万博に流れていた客が小売に若干戻っただけであり、今後も大きく変わることはない。
	その他小売〔貴金属〕（経営者）	・客との会話では、家族、友人との旅行や外出に支出が向かっており、貴金属は今後も買い控えが続く。
	高級レストラン（スタッフ）	・予約客は順調に確保しているが、一般客の動きが弱い。そのため、天候やイベント等の影響により、簡単に前年割れしてしまう。今後もこの傾向は続く。
	一般レストラン（スタッフ）	・客は、ボーナスが出て、堅実なお金の使い方をしていく。今後も慎重な姿勢が続く。
	旅行代理店（経営者）	・全体的に良くなる材料がない。
	旅行代理店（従業員）	・梅雨明けが遅くなり、8月の需要期の申込ピークが過ぎてしまったため、今後の販売量は伸びない。
	通信会社（サービス担当）	・ボーナス月でも販売実績に変化は少なく、生活が豊かになっている様子はない。ただし、今後悪くなる雰囲気もない。
	ゴルフ場（経営者）	・3か月先までの予約の伸びは、前年に比べて落ちている。申込が直前になる傾向はあるが、コンペの伸び悩みもあり、今後が懸念される。
	ゴルフ場（企画担当）	・2、3か月先までの予約数は、前年を上回っている。ただし、今後良くなるには、客単価がもう少し上昇することが必要である。
	住宅販売会社（企画担当）	・住宅ローン金利が上がってきているため、この先2、3か月は駆け込み需要がある。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・現在新築物件を着工している元請が少ないため、しばらくこの状態が続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・昨年の愛知万博の反動もあるが、それ以上に消費の動きは弱く、今後やや悪くなる。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	・原油価格の高騰に伴い材料費が値上がりしており、天候不順で野菜等の値段も上がっている。客は消費を抑える傾向にあり、この先売上の増加に結びつく要素はほとんどない。
	スーパー（仕入担当）	・来客数は前年割れが続いており、売上面でも今後厳しさが増す。
	コンビニ（経営者）	・得意先の零細企業では、業績の良いときはこれまで中元、歳暮を派手にしていたが、現在はカットしている。景気は決して良くなく、今後も厳しい状況が続く。
	コンビニ（売場担当）	・既存店の売上は低迷しており、今後しばらくイベントもないため、厳しい状況が続く。
	家電量販店（店員）	・将来的に消費税の増税が予想され、消費者は財布のひもを引き締める方向に動く。
	乗用車販売店（従業員）	・普通車販売はかなり厳しくなっており、現状維持もままならない状況である。原油価格の高騰やリコール問題もあり、今後に向けての明るい材料がない。
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	・貴金属の仕入価格が上昇しても、販売価格に転嫁できない。今後も厳しい状況が続く。
	観光型ホテル（経営者）	・年内の予約は、宿泊は前年比数%増であるが、会食、昼食、夕食では前年比70~80%と、地元客の需要が低調である。地場産業の漁業では、原材料費、消耗品費や光熱費が上昇しているが、製品価格に転嫁できず経営が苦しくなっている。今後やや悪くなる。
	都市型ホテル（従業員）	・今月は身近な会社が2社倒産しており、先行きが大変不安である。
	都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況はあまり良くない。ただし、間際の問い合わせが増える傾向にある。
	都市型ホテル（スタッフ）	・法人客の経費の使い方が依然として慎重であり、今後の見通しも悪い。
	通信会社（企画担当）	・ボーナスシーズンでも低調なので、今後は更に厳しい状況になってくる。
	設計事務所（経営者）	・公共事業は今後も増えず、厳しい状況が続く。
	住宅販売会社（従業員）	・金利上昇がやや追い風になるが、その反面で、水害、農作物の不作や原油価格の高騰に伴う運送費の上昇など、家計を取り巻く環境は厳しくなり、今後財布のひもは固くなる。
悪くなる		

企業 動向 関連	良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・9、10月になれば新規大型設備が有効に稼働し始めるため、大幅な増収増益になる。また、3～5月の新規住宅着工件数は昨年12～2月と比べて9.2%増加しており、今後需要は伸びる。
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・2、3か月先の受注量、販売量は、今月より3～6%増加する。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・取引先は全体的に好調であり、販売量も伸びてきている。一部失注があってもカバーでき、上昇に転じる。
		会計事務所（社会保険労務士）	・8月以降に決算を迎える企業は、上半期と同様、黒字で推移しているところが多い。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	・原油価格高に伴う材料、動燃費のコスト増が、製造原価を押し上げている。食料品は販売価格に転嫁できないため、収益悪化を招いている。今後も現在の状況が続く。
		一般機械器具製造業（販売担当）	・主要取引先である米国自動車メーカーの財務状態が相変わらず悪いため、下請企業も含めて米国自動車メーカー関連の設備投資の増加は今後も見込めない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・原油価格の高騰などの問題はあがるが、突発的な事故や事件がなければ、今後も大きく変化することはない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・ゼロ金利解除の影響は2、3か月先ならまだ出でおらず、今のままの状態が続く。ただし、原油価格の高騰は気掛かりである。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・主力取引先の再建が順調に進まず、一進一退の状況である。しばらくは、現在の状態が続く。
		金融業（企画担当）	・金利上昇に伴い不動産の買い控えが予想されるが、金利はまだ上がると考える企業、個人も多く、今のうちに不動産を購入したいとするニーズは今後も引き続き高い。
広告代理店（制作担当）		・広告の質を下げたり数量を減らしたりして、予算を少しでも削ろうとする傾向があり、今後も横ばいが続く。	
新聞販売店〔広告〕（店主）	・今月は折込広告が減少しているが、先行きに関しては大きな落ち込みは考えられず、堅調に推移する。		
やや悪くなる	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・受注量や販売量は現状維持であるが、仕入価格の高騰は避けられない。主要取引先からは10月以降も販売価格への転嫁に応じられないと告げられており、少し厳しくなる。	
	印刷業（営業担当）	・現在は現状維持も難しい状態である。今後は、発注量や受注価格の維持も問題になってくる。	
	化学工業（企画担当）	・ゼロ金利解除の影響で、今後金利負担の増加や株安などが予想され、企業収益に少なからず影響が出る。	
	鉄鋼業（経営者）	・業界内では、来月には良くなるとか仕事が増えそうだという見通しが毎月出ているが、実際には見積件数や受注数の増加にはつながっていない。この状況が半年以上も続いており、今後も厳しい状況が続く。	
	金属製品製造業（従業員）	・今は同業他社も含めて忙しいが、今後は仕事量が減るといいう話をよく聞く。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・建設関係向け機種の受注も頭打ち傾向にあり、下期の計画は見直しを迫られる。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・地元企業の業績は一部を除いて芳しくなく、今後に向けて明るい材料はあまりない。	
	建設業（経営者）	・相変わらず価格競争が厳しく、受注量が増えても利益は増えない。受注すればするほど赤字が増える状況は、全く変わっていない。今後は更に厳しくなる。	
	輸送業（従業員）	・天候不順に加えて、国際情勢の悪化により原油価格は更に上がるため、販売価格に転嫁できない業界では一層厳しい状況になる。	
	輸送業（エリア担当）	・燃料費がまた4～10円値上がりし、今後も収益を圧迫し続ける。	
	公認会計士	・金利上昇により、借入が多い企業の財務状況は危機的になり、中小企業の倒産が増える。また、原油価格高の継続や、自動車製造関連企業の一部の業績に陰りがあるなど、他にも不安材料は多い。	
	会計事務所（職員）	・建設業では、8月半ばまでは現状維持できるが、秋口以降の受注が入っておらず、低迷する。	
	悪くなる	金属製品製造業（経営者）	・原材料価格高が続くが、市場は横ばい傾向で、受注競争はますます激しさを増し、販売価格は一層低下する。
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（企画担当）	・正社員雇用を求める傾向が、明確になってきている。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣求人数は増加傾向であるが、新規登録者が減ってきているため、各社で人材を取り合っている。求職者は、希望する仕事を選択しやすくなる方向である。

	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・ここ2～3か月間は求人数の減少が続いているが、自動車関連が秋ごろから増産するため、受注は再び活発となる。ただし、労働者不足が解消するわけではなく、業績が回復するかどうかは不明である。
	民間職業紹介機関(職員)	・派遣求人数も相変わらず多いが、紹介予定派遣や正社員の求人も増えているので、引き続き景気は堅調に推移していく。
	学校[専門学校](就職担当)	・就職対策のための教養講座などへの申込が、私大学生を中心に減少してきている。売手市場のため、就職への危機意識が低下している。学生の就職環境は今後も良くなる。
変わらない	人材派遣会社(経営者)	・人材派遣会社への求人はあるが、職業安定所や求人誌、インターネットで募集しても、人材が集まらない。派遣する人材がいないと売上も伸びず、厳しい状態が続く。
	人材派遣会社(社員)	・正社員の求人数は増加しているが、条件に合う人材が不足しており、なかなか採用されない。今後もこの状況は続く。
	人材派遣会社(経営企画)	・顧客企業からの注文数は順調であるが、例年に比べると選別条件は厳しくなっているため、今後も売上は伸びない。
	新聞社[求人広告](担当者)	・このところ求人数は減少している。この傾向が今後も続く。
	新聞社[求人広告](営業担当)	・新卒求人で内定辞退がかなり出てきているため、2次募集する企業が例年以上に増えている。しかし合同企業説明会に参加する学生数は先細り傾向にあり、学生の売手市場は今後も続く。
	職業安定所(所長)	・人手不足が広がっており、企業の採用意欲はおう盛であるが、非正規社員求人の割合が高いため、求職者は敬遠している。今後も人員充足が困難な状況が続く。
	職業安定所(職員)	・原油価格の高騰に伴い、原材料価格の上昇が企業の収益を圧迫しており、求人にも影響が出ている。今後もこの状況が続く。
	職業安定所(職員)	・高卒求人は増加しているが、中途採用の正社員求人の動きはない。中途採用に動きが出ない限り、現状維持が続く。
	職業安定所(職員)	・企業のリストラが増加傾向にあり、会社都合の離職者数は5か月連続で増加している。今後も厳しい状況が続く。
	職業安定所(管理部門担当)	・正社員の求人数は少なく、採用基準も厳しい。原油価格の高騰などに不安を抱える企業も多く、雇用は今後も厳しい状況が続く。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社 (編集長)	・有効求人倍率は高止まりしており、人材が集まらず採用をあきらめる企業がある。これが生産拡大、サービス拡大のブレーキになり、景気後退する懸念がある。
悪くなる	-	-